

令和3年度 長野県地方税滞納整理機構に
おける温室効果ガス排出等の実績について

1 温室効果ガス排出量

令和3年度の本機構における各温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）は31,580kgでした。基準年度である平成28年度と比較して18.7%の減少となり、令和3年度までの現計画期間における総排出量の目標値である5%減を達成しました。

令和3年度の詳細な内訳等については下表のとおりです。

温室効果ガスの種類	排出要因	活動量	温室効果ガス排出量		28年度比
			(kg-co2)		
			3年度	28年度	
二酸化炭素 (CO2)	電気の使用	30,392kwh	12,339	16,344	▲75.5%
	都市ガスの使用	2,596 m ³	5,763	6,236	▲7.6%
	自動車の走行 (ガソリン)	5,626ℓ	12,637	15,383	▲17.9%
メタン (CH4)	自動車の走行	90,896 km	27	29	▲6.9%
一酸化二窒素 (N2O)	自動車の走行		757	805	▲6.0%
ハイドロフルオオカーボン (HFC)	カーエアコンの冷媒	4台	57	57	0.0%
総排出量			31,580	38,854	▲18.7%

2 その他の目標

その他の目標として(1)環境物品等の調達、(2)コピー用紙の削減を掲げておりますが、実行計画では具体的な数値を設定しておりません。

しかし、グリーン購入法適合商品の積極的な購入及びコピー用紙の削減に努めました。

3 具体的な取組項目

令和3年度に実践した具体的な項目

(1) 電気使用量の削減への取組

始業時前、昼休み時、残業時に不要な個所の照明をこまめに消灯しました。

○A機器の省電力機能を使用しました。

その他の取組として毎週金曜日のノー残業デーを徹底しました。

(2) 燃料使用量の削減への取組

公用車の適正使用として走行ルートの確認、相乗り及び交通情報の収集に努め、効率的な運行を図りました。また、エコドライブの実践にも努めました。

クールビズ及びウォームビズを実践し、冷暖房機器の適正な使用を図りました。

(3) 環境保全に対する取組

使用済の紙類、空き缶、空き瓶及びペットボトルのリサイクルを徹底し、廃棄物の減量及びリサイクルを推進しました。

環境物品等の購入では、グリーン購入法適合商品の積極的な購入に努めるとともにコピー用紙は、古紙は配合70%、白色度70%程度の再生紙を購入しました。

両面印刷や両面コピーに努めるなど、古紙の再利用を図りました。

資源の節約としてマイ箸、マイコップの使用を職員に促しました。

3 温室効果ガス排出量の減少について

令和3年度の本機構における温室効果ガスの排出量については、基準年度である平成28年度と比較して18.7%減となり、令和3年度までの削減目標である5%減を達成しました。

電気については、事務室等の照明や○A機器等に、都市ガスは、冷暖房の熱源として使用されております。

それらの使用量は、当機構が長野県千曲庁舎の一部を事務室等として使用していることから使用面積の按分により算出しております。

当機構としては、職員の節電意識をより高め、冷暖房機器の適切管理のため、今後もクールビズ及びウォームビズを徹底してまいります。

自助努力による主な削減要因は、ガソリンの使用量の削減によるものですが、特に令和3年度においては、新型コロナウイルスの蔓延による出張等の活動自粛があったという特殊事情があります。

なお、公用車のガソリンの使用量は平成28年度より減少傾向にありますが、機構の業務が県内の広域範囲となっていることから継続して削減することが難しい面もあります。

今後は、新型コロナウイルスの蔓延状況を踏まえつつ、令和8年度までの新たな実行計画に基づき、公用車の適正管理、エコドライブを実践するなど、使用量の抑制に努めてまいります。